
VA-1809 Utility Soft

取扱説明書

第2 版

VA-1809 Utility Soft

取扱説明書

2008.4

第 2 版

目次

第1章 UTILITYについて.....	3
1.1. 概要.....	3
1.2. 特長.....	3
1.2.1 Windowsに対応したソフトウェア.....	3
1.2.2 自由度が高く容易なデータ管理機能.....	3
1.2.3 動作環境.....	3
1.3. ソフトウェアのインストール.....	4
1.3.1. UTILITYのインストール.....	4
1.3.2. アンインストールの方法.....	5
第2章 操作方法.....	7
2.1. 概要.....	7
2.2. UTILITYの起動.....	7
2.3. UTILITYの終了.....	8
2.4. 環境の設定.....	8
2.4.1. 起動方法.....	8
2.4.2. 通信設定方法.....	8
2.5. EDIDデータの作成と編集.....	10
2.5.1. 起動方法.....	10
2.5.2. Window画面と名称.....	10
2.5.3. 操作方法.....	12
2.5.4. メニュー.....	14
2.5.5. ブロック操作.....	15
2.6. CECモニタリングと送信.....	17
2.6.1. 起動方法.....	17
2.6.2. Window画面と名称.....	17
2.6.3. 操作方法.....	19
2.6.4. メニュー.....	23
2.7. LOG.....	24
2.7.1. 起動方法.....	24
2.7.2. Window画面と名称.....	24
2.7.3. 操作方法.....	26
2.7.4. メニュー.....	27
2.8. CEC CDF.....	28
2.8.1. 起動方法.....	28
2.8.2. Window画面と名称.....	28
2.8.3. 設定項目.....	29

はじめに

このたびは、当社製品HDMIプロトコルアナライザをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

VA-1809A UTILITY SOFT（以降 UTILITY）は、HDMIプロトコルアナライザ（以降 VA-1809A と省略）用データを編集・作成し、送受信するためのプログラムです。（本書で参照している図は、VA-1809A 接続時のもので、他の VA-1809A との接続時には、異なる場合があります。それぞれの編集プログラムのヘルプを参照して下さい。基本的な操作方法は、どの VA-1809A と接続しても同じです。）

本書は UTILITY の取り扱い方法についての書であり、具体的な設定項目や設定値等の詳細については、UTILITY のヘルプを参照してください。

また、本書をお読みいただいた後には、なくさないように大切に保管して下さい。

安全上のご注意

警告

◎ 異物について

- 液体をこぼしたり、燃えやすいものや、金属類を落とさないでください。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

注意

◎ 設置・使用場所について

- 安定した場所に設置してください。
- 取付の際には、必ず前もってコンピュータの電源を切り、電源コードを抜いてください。

◎ 衝撃について

- 精密機器につき、衝撃を与えますと故障するおそれがあります。移動の際は十分ご注意ください。

1

UTILITY について

1.1. 概要

UTILITY は、Windows 上で動作する VA-1809A 操作用アプリケーションソフトです。
VA-1809A の状態を取得し、設定を変更できます。また、データの作成や、作成したデータの実行もできます。
操作はすべて PC 上でおこない、作成したデータもファイル形式で保管できます。

1.2. 特長

1.2.1 Windows に対応したソフトウェア

Windows 上でデータの編集、および実行をすることができます。

1.2.2 自由度が高く容易なデータ管理機能

各タイミングおよびパターンデータ等をファイルとして独立させております。
リスト表示、ソート機能、ネーミング機能等により、データ管理が容易に行えます。

1.2.3 動作環境

プロセッサ	: Pentium4 1GHz 以上推奨
メモリ	: 256MB 以上推奨
ハードディスク空き容量	: 100MB 以上推奨
ディスプレイ解像度	: 1024 x 768 以上推奨

OS

Windows2000 日本語版・英語版

WindowsXP 日本語版・英語版

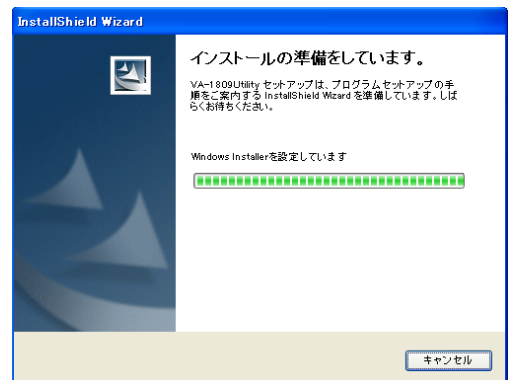
1.3. ソフトウェアのインストール

ここでは、UTILITY を Windows 上で動作させるためのファイルをインストールする方法の説明を行っています。
なお、本説明は以下のディスクに対応しています。

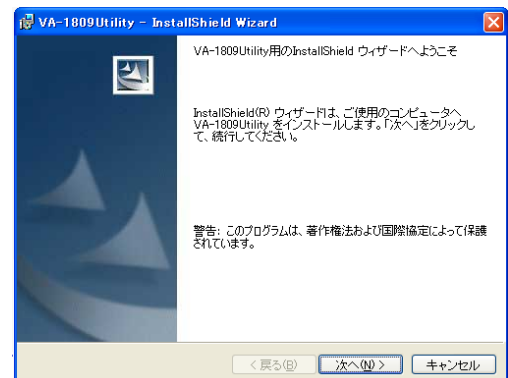
Windows 版 UTILITY インストールディスク CD 1 枚

1.3.1. UTILITY のインストール

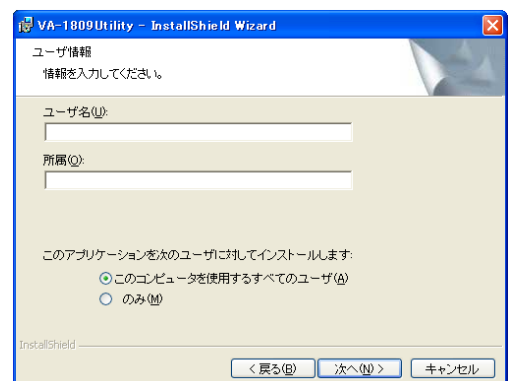
- ① UTILITY インストールディスク CD を CD ドライブにセットして、Windows の [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]-[インストール]を選択します。インストーラーが作動しセットアップを開始します。



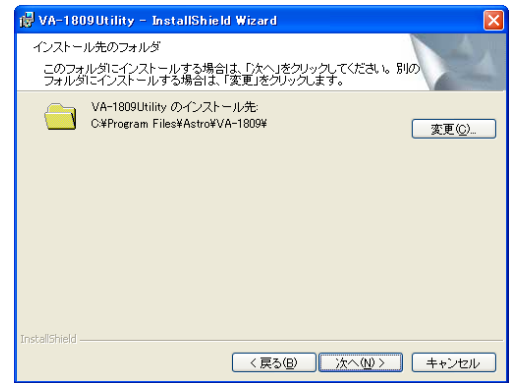
- ② まず、『ようこそ』ダイアログが表示されます。[次へ]ボタンをクリックするとセットアップは次の手順へ進み、[戻る]ボタンでは前の手順へ戻ります。[キャンセル] ボタンではセットアップを中止します。[次へ]ボタンをクリックして下さい。



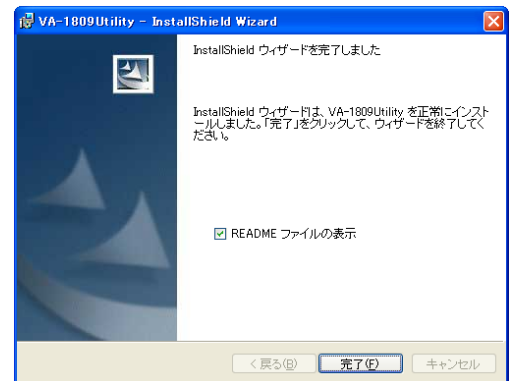
- ③ 『ユーザ情報』ダイアログではユーザ情報の登録を行います。ユーザ名、所属、UTILITY をどのユーザが使用するかを変更できます。設定後、[次へ]ボタンをクリックして下さい。



④ [インストール先のフォルダ選択]ダイアログではインストール先のフォルダを変更できます。「変更」ボタンを押し、フォルダを選択して下さい。設定後、[次へ]ボタンをクリックするとファイルのインストールダイアログが表示され、「インストール」ボタンを押すとインストールが開始されます。



⑥ これでセットアップは完了しました。「完了」ボタンを押して下さい。



⑧ これで、インストールは終了しました。Windows の[スタート] - [プログラム] - [VA-1809 Utility より起動して下さい]。

1.3.2. アンインストールの方法

Windows の[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]を選択し、画面の指示に従って削除して下さい。

再インストールをする場合は、アンインストールでファイルやレジストリの設定を削除してから行ってください。

2

操作方法

2.1. 概要

基本的な操作として『VA-1809 Utility』を起動し、データの作成・編集、VA-1809A との送受信、作成データの保存を行います。

2.2. UTILITY の起動

①「スタート」－「プログラム」－「VA-1809 UTILITY」を選択して下さい。

※UTILITY 起動時に VA-1809A の CEC ライセンス、バージョン情報を読み取りにいきます。この時、UTILITY と VA-1809A のバージョンが合っていない場合には警告のメッセージが表示されます。

警告メッセージが表示された場合には VA-1809A のバージョンアップを行ってください。

※UTILITY 起動時に VA-1809A の電源が入っていない等の理由で CEC ライセンスが取得できなかった場合、CEC、CEC CDF の設定を行うことは出来ません。通信の設定を見直した後、再度 UTILITY を起動しなおしてください。

※VA-1809A の CEC、CEC CDF の設定項目は『HDMI Specification Version 1.3a』に準拠しています。

※EDID の GUI 表示は『CEA Standard CEA-861-D』に準拠しています。

2.3. UTILITY の終了

[Close] ボタンをクリックします。

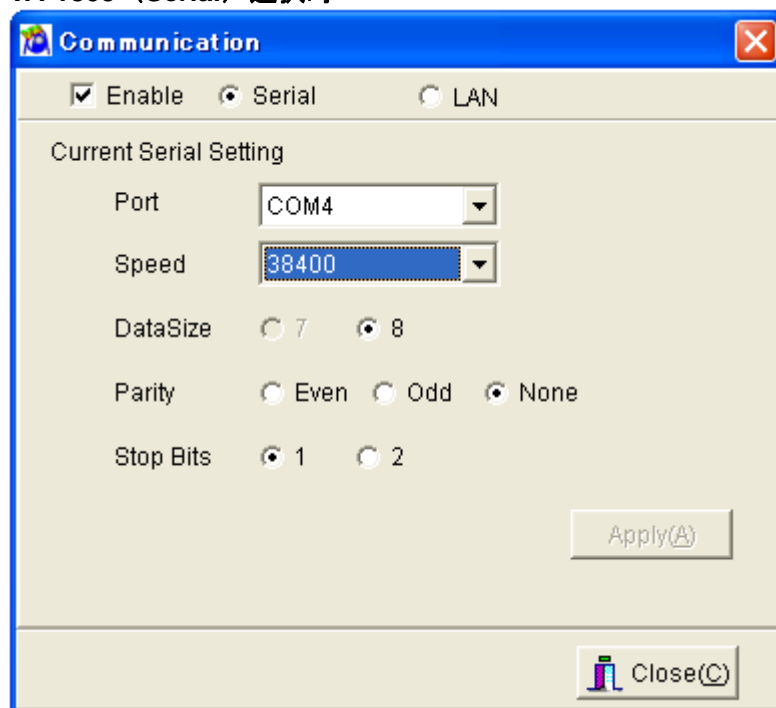
2.4. 環境の設定

2.4.1. 起動方法

『VA-1809 UTILITY』の [Tool] — [Communication] ボタンをクリックします。

2.4.2. 通信設定方法

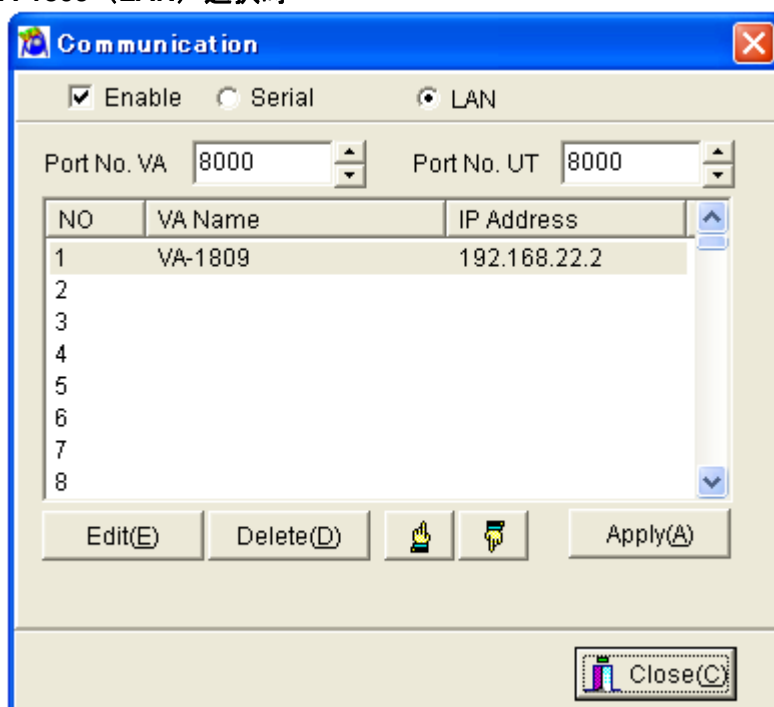
VA-1809 (Serial) 選択時



通信方法の選択

Enable	通信を有効にし VA-1809 (Serial)、VA-1809 (LAN)、PC の設定を行う事ができます。
VA-1809 (Serial)	通信方法として、RS-232C の使用を選択します。
VA-1809 (LAN)	通信方法として、LAN の使用を選択します。
Port	ポート番号を選択します。
Speed	通信速度を 9600/19200/38400/57600/115200 から選択します。
DataSaze	通信データサイズを選択します。(8bit 固定です)
Parity	Parity を Even/Odd/None から選択します。
Stop Bits	Stop Bits を 1/2 から選択します。

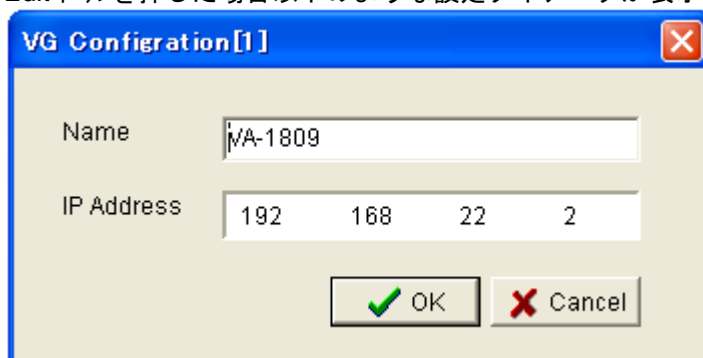
VA-1809 (LAN) 選択時



Port No. VA-1809	VA-1809A 側のポート番号を設定します。初期値は 8000 に設定されてあります。(※1)
Port No. UT	Utility 側のポート番号を設定します。初期値は 8000 に設定されてあります。(※1)
Edit ボタン	IP アドレス設定ダイアログを表示します。
Delete ボタン	リストに選択されている設定を削除します。

※1 基本的にポート番号は初期値を使用してください。接続するネットワークにより初期値が使用できない場合、ポート番号を変更して使用してください。

Edit ボタンを押した場合以下のような設定ダイアログが表示されます。



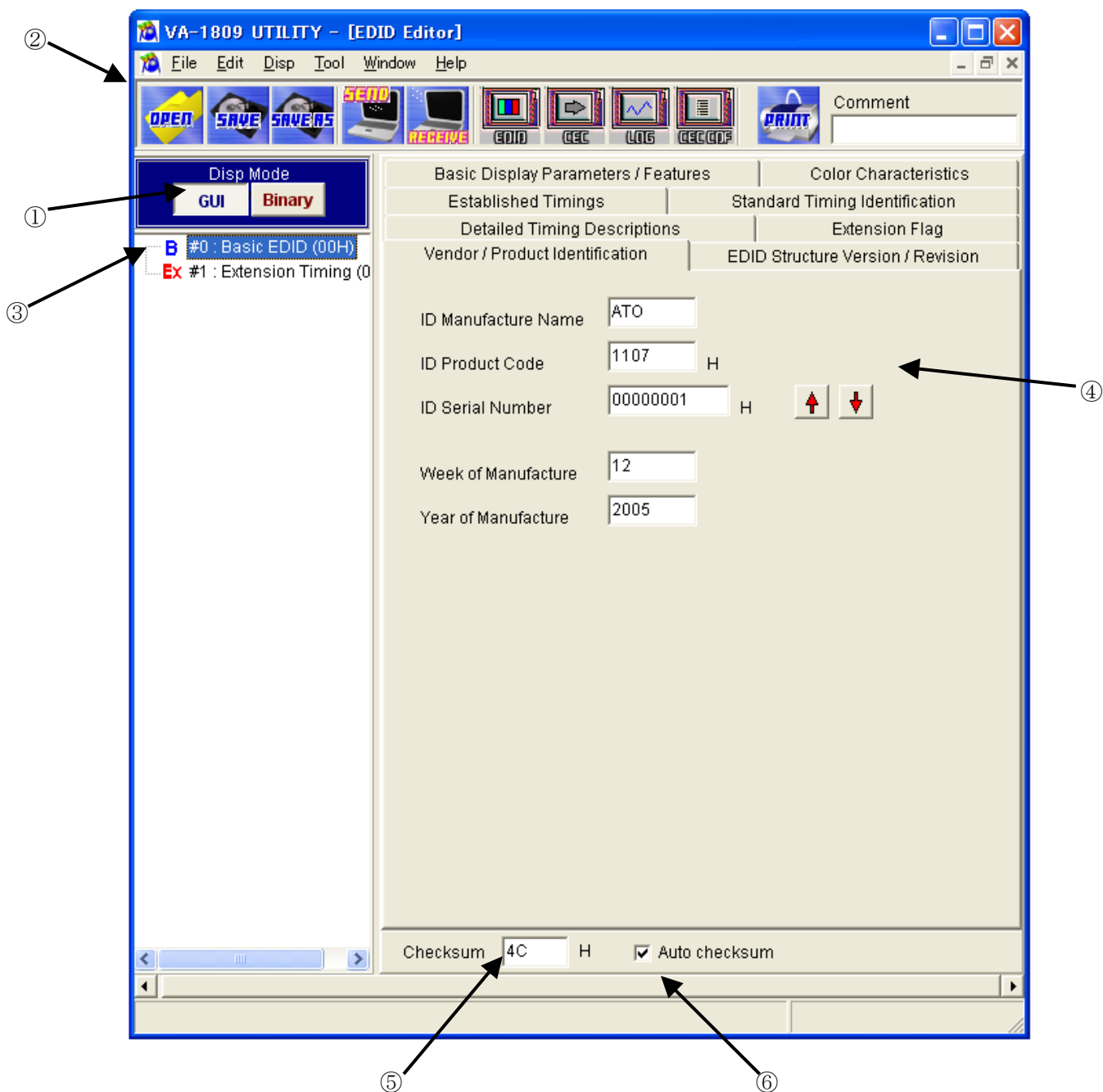
Name	通信の名前を表示します。
IP Address	IP アドレスを表示します。

2.5. EDID データの作成と編集

2.5.1. 起動方法

[EDID] ボタンを選択して下さい。

2.5.2. Window 画面と名称



No.	項目名	詳細
①	DispMode の切替	<p>GUI 表示モードとバイナリ表示モードに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GUI 表示モード ブロックタイプに応じて、グラフィカルで見やすい画面で表示されます。 なお、サポート外のブロックタイプについてはバイナリで表示されます。 ・ バイナリ表示モード 128 バイトのバイナリ表示となります。
②	ツールバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ Open : EDID データファイルを開きます。 ・ Save : EDID データをファイルに上書き保存します。 ・ Save As : EDID データをファイルに保存します。 ・ Send : VA-1809A に編集集中の EDID データを送信します。 ・ Receive : VA-1809A から EDID データを受信します。 ・ Print : EDID データを印刷します。 ・ Comment : EDID データにコメントを入れることができます。
③	ブロックタイプ一覧	ブロックタイプの一覧が表示され、一つのブロックに対してブロック番号・ブロックタイプ（先頭 1 バイトのブロックコード）が表示されます。
④	データの表示	左側のブロックタイプ一覧で選択されたブロックのデータが表示されます。
⑤	チェックサム	<p>チェックサムの値が表示されます。</p> <p>チェックサムは、ブロックの最終バイトの値となります。</p> <p>チェックサム自動計算がチェックされているときは、データを変更するたびに自動更新されます。</p>
⑥	チェックサム自動計算	チェックすると、データを変更するたびにチェックサムの値が自動更新されます。

2.5.3. 操作方法

(1) EDID データの新規作成

①[File]メニューの[New]をクリックします。

作成するブロック数の選択ダイアログが表示されます。


②作成するブロック数を選択して OK ボタンを押してください。指定した数のブロックが作成されます。データの初期値はすべて 0 です。

※新規作成の後でもブロック数を変更することができます。

(2) ファイルを開く

保存されているファイルを開いて EDID データを読み込みます。



①[File]メニューから[Open]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択してください。

②ファイルを選択し、OK ボタンを押します。

③選択されたファイルが開かれて EDID データが表示されます。

(3) EDID データの編集

最初にブロックタイプを決めてから、データ編集します。

①ブロックタイプを決めます。編集するブロックを選択してから[Edit]メニューの[Change Block Type]をクリックします。ブロックタイプの選択ダイアログが表示されます。目的のブロックタイプを選んで OK ボタンを押します。


②GUI 表示モードの時は、ブロックタイプによって表示形式が切り替わります。

バイナリ表示モードの時は、128 バイトがダンプ表示されます。


(5) ファイルの保存

表示されているデータをファイルに保存します。



①[File]メニューの[Save]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択場合、データを選択されているファイルに上書き保存します。



②[File]メニューの[Save As]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択した場合、ファイルの選択ダイアログが表示されます。ファイル名を入力し、OK ボタンを押します。表示されているキャラクタを、新規ファイルに保存します。

(6) モニターへの送信

VA-1809A に EDID データを書き込みます。




- ① ツールボタンから  ボタンを選択した場合、送信ダイアログが表示されます。

(7) モニターからの受信

VA-1809A から EDID データを読み込みます。




- ① ツールボタンから  ボタンを選択した場合、受信した EDID データが表示されます。

(9) EDID データの印刷

表示している EDID データをバイナリ印刷します。



- ① [File]メニューの[Print]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択します。
② Print ダイアログが表示されます。ここで、印刷するブロック番号と Margin（余白）を設定します。
③ OK ボタンを押すと、表示されている EDID データをバイナリで印刷します。
④ 設定されている Printer を変更したい場合は、Set Printer...ボタンを選択します。
⑤ プリンタの設定ダイアログが表示されます。

2.5.4. メニュー

■ [File]メニュー

メニューコマンド	機能
New	データを新規作成します。
Open	ファイルを開きます。
Save	データをファイルに保存します。
Save As	データのファイル名を変更して保存します。
Close	ファイルを閉じます。
Properties	ファイルの属性を表示します。
Print	表示データを印刷します。
Exit EDID Editor	プログラムを終了します。

■ [Edit]メニュー

メニューコマンド	機能
Insert-up Block	新規ブロックを前挿入します。
Insert-down Block	新規ブロックを後挿入します。
Delete Block	ブロックを削除します。
Copy Block	ブロックをコピーします。
Move Block	ブロックを移動します。
Change Block Type	ブロックタイプを変更します。

■ [Disp]メニュー

メニューコマンド	機能
Binary Byte (1 byte)	バイナリ表示の時に1バイトごとに区切って表示します。
binary Short (2 byte)	バイナリ表示の時に2バイトごとに区切って表示します。
Binary Long (4 byte)	バイナリ表示の時に4バイトごとに区切って表示します。

■ [Help]メニュー

メニューコマンド	機能
Contents	ヘルプを表示します。
Index	ヘルプトピックを検索できます。
About	バージョン情報を表示します。

2. 5.5. ブロック操作

■ ブロックの前挿入

ブロックを挿入する位置のすぐ下のブロックをクリックします。
[Edit]メニューの[Insert-up Block]をクリックします。

■ ブロックの後挿入

ブロックを挿入する位置のすぐ上のブロックをクリックします。
[Edit]メニューの[Insert-down Block]をクリックします。

■ ブロックの削除

削除するブロックをクリックします。
[Edit]メニューの[Delete Block]をクリックします。

■ ブロックのコピー

コピーするブロックをクリックします。
[Edit]メニューの[Copy Block]をクリックします。

■ ブロックの移動

移動するブロックをクリックします。
[Edit]メニューの[Move Block]をクリックします。

■ ブロックタイプの変更

タイプを変更するブロックをクリックします。
[Edit]メニューの[Change Block Type]をクリックします。

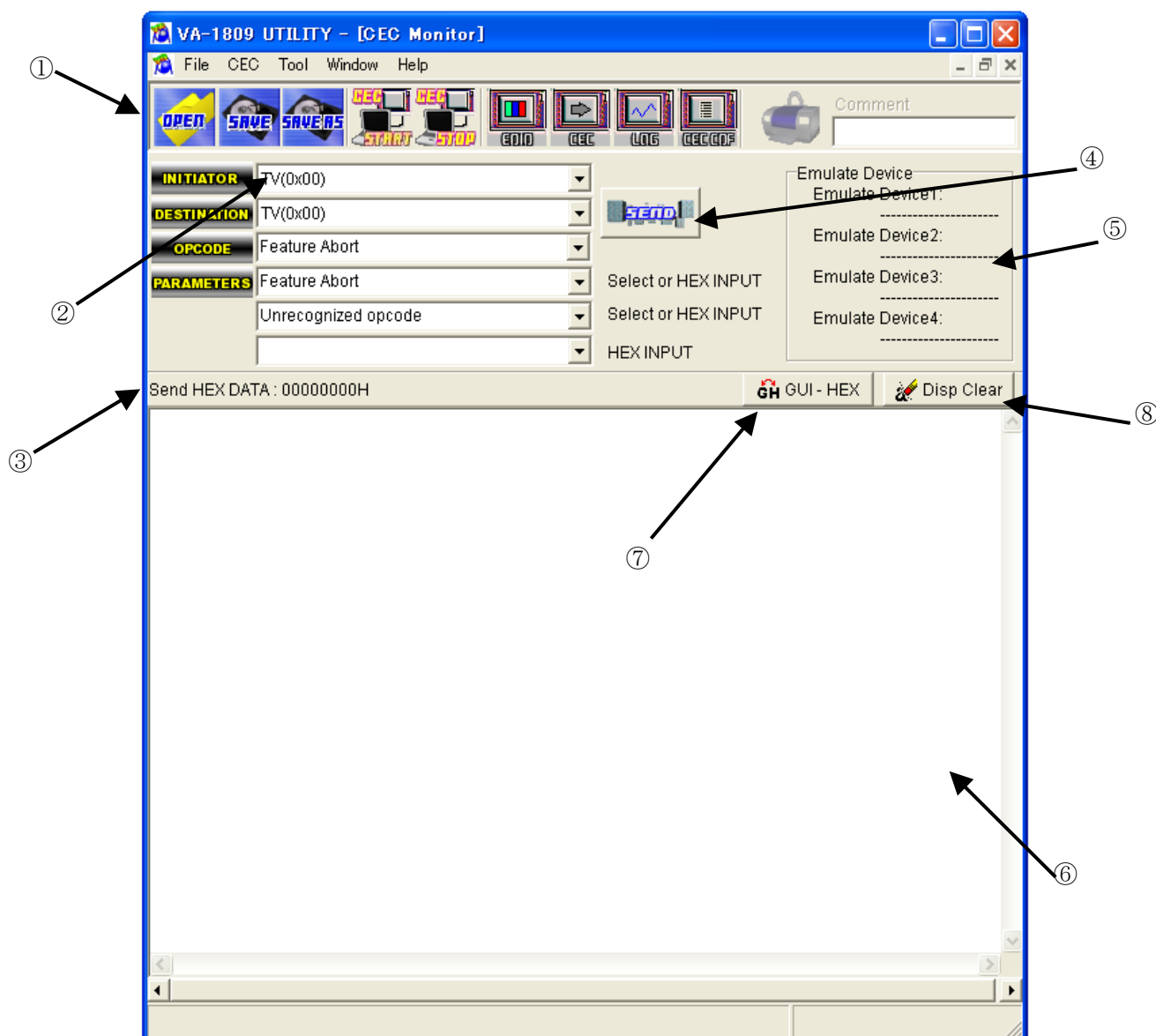


2.6. CEC モニタリングと送信

2.6.1. 起動方法

[CEC] ボタンを選択して下さい。

2.6.2. Window 画面と名称



No.	項目名	詳細
①	ツールバー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Open : CEC SEND データファイルを開きます。 ▪ Save : CEC SEND データをファイルに上書き保存します。 ▪ Save As : CEC SEND データをファイルに保存します。 ▪ CEC START : CEC モニターを開始します。 ▪ CEC STOP : CEC モニターを終了します
②	CEC SEND DATA	<ul style="list-style-type: none"> ▪ INITIATOR : CEC SEND DATA の INITIATOR 部分を設定します。※ 1 ▪ DESTINATION : CEC SEND DATA の DESTINATION 部分を設定します。 ▪ OP CODE : CEC SEND DATA の OP CODE を設定します。 ▪ PARAMETERS : CEC SEND DATA の PARAMETER を設定します。
③	SEND HEX DATA	CEC SEND DATA で設定されたデータを HEX 表示しています。
④	SEND	CEC SEND DATA で設定されたデータを VA-1809A より送信します。
⑤	EMULATE DEVICE	現在 VA-1809A がエミュレートしている DEVICE を表示します。※ 2
⑥	CEC モニター	CEC ラインをモニタリングした情報を表示します。
⑦	GUI HEX 表示切替	CEC モニターの表示を GUI、HEX に切り替えます。
⑧	DISP CLEAR	CEC モニターの表示をクリアします。

※1 VA-1809A がエミュレートするデバイスではありません。

※2 Utility より設定したエミュレートデバイスです。VA-1809A 側で設定を変えた場合 Utility の表示とエミュレートデバイスに違いが生じることがあります。

2.6.3. 操作方法

(1) CEC SEND DATA の編集

[CEC SEND DATA]の各コンボボックスをクリックし、選択してください。


PARAMETORS には OP CODE に対応した項目が表示されます。

また、OP CODE、PARAMETORS には HEX または文字列を入力することもできます。

(2) ファイルを開く

保存されている CEC SEND DATA ファイルを開いて CEC SEND DATA を読み込みます。



①[File]メニューから[Open]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択してください。


②ファイルを選択し、OK ボタンを押します。

③選択されたファイルが開かれて CEC SEND DATA が表示されます。


(3) ファイルの保存

表示されているデータをファイルに保存します。



①[File]メニューの[Save]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択場合、データを選択されているファイルに上書き保存します。



②[File]メニューの[Save As]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択した場合、ファイルの選択ダイアログが表示されます。ファイル名を入力し、OK ボタンを押します。データを、新規ファイルに保存します。


(4) CEC モニター

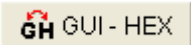
VA-1809A が取得した CEC のデータを表示します。




① ツールボタンから  ボタンを選択した場合、VA-1809A より CEC のデータの取得を開始します。



② ツールボタンから  ボタンを選択するまで、一定期間ごとに VA-1809A より CEC のデータの取得を行います。

③  ボタンを選択すると、CEC のデータの表示を HEX から GUI に、GUI から HEX に切替ます。

④  ボタンを選択すると、CEC のデータの表示クリアします。

(5) CEC SEND DATA の送信

VA-1809A より CEC SEND DATA の送信を行います。



① ボタンを選択した場合、現在表示されている CEC SEND DATA が送信されます。

② CEC メニューから Send File ボタンを選択すると、File に設定されている送信シーケンスを送信することが出来ます。

また、Send File Again を選択すると前回送信した送信シーケンスを送信することが出来ます。

Send File の構成は以下の通りです。

コマンド	内容
[CMD]	送信を行う CEC DATA
[INT]	送信と送信のインターバル(ms)
;	以降コメント

※ [INT]で設定されたインターバルは VA-1809A に送信命令を行うインターバルです。

VA-1809A よりコマンドを送信されるまで多少の誤差が生じる場合があります。

(例)

[CMD] 10 04 ;[CMD] Recording Device より TV へ Image View ON

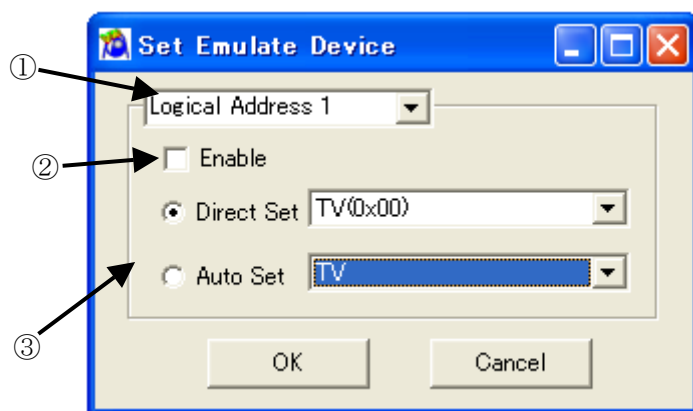
[INT] 1000

[CMD] 1F 82 11,00 ;[CMD] Recording Device より Broadcast Active Source[1.1.0.0]

(9) エミュレートデバイスの設定

VA-1809A がエミュレートするデバイスの設定を行います。

[CEC]メニューの[Set Emulate Device]メニューを選択してください。



最大 4 つのデバイスをエミュレートすることが出来ます。

①のコンボボックスから設定を行うデバイス番号を選択してください。

②のチェックボックスにチェックをするとデバイス番号のロジカルアドレスの設定が有効になります。

③ のチェックボックス、ラジオボタンで取得したいロジカルアドレスを設定します。

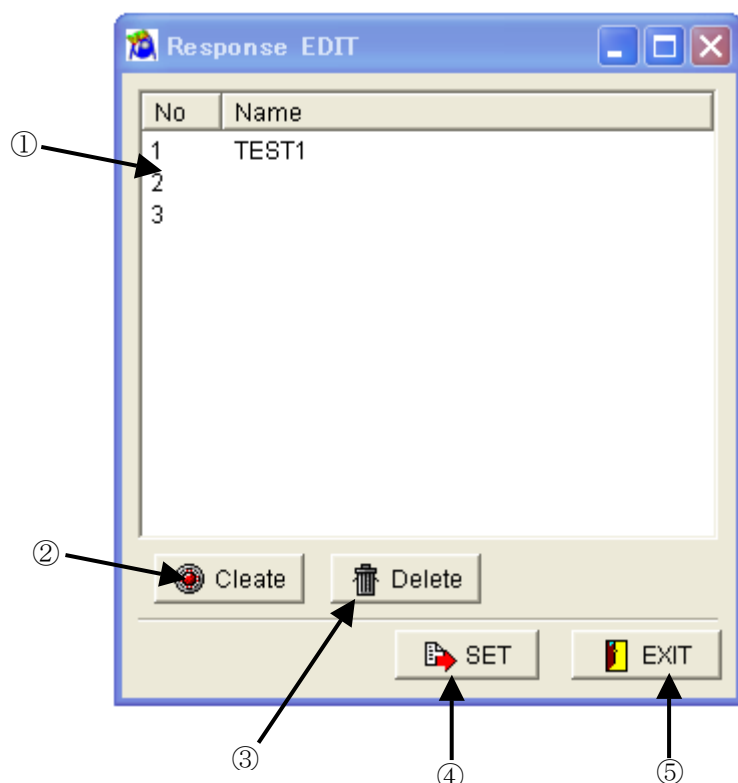
Direct Set の場合、他のデバイスが設定されたロジカルアドレスを取得していても強制的にそのロジカルアドレスを取得します。

Auto Set の場合、デバイスタイプの中より取得し得るロジカルアドレスを取得します。

OK ボタンを押すと VA-1809A に設定を送信し、ロジカルアドレスの取得を行います。

(9) レスポンスの設定

特定のコマンドを VA-1809A が受信した際、設定されたレスポンスを返す、またはレスポンスを返さない様設定を行います。



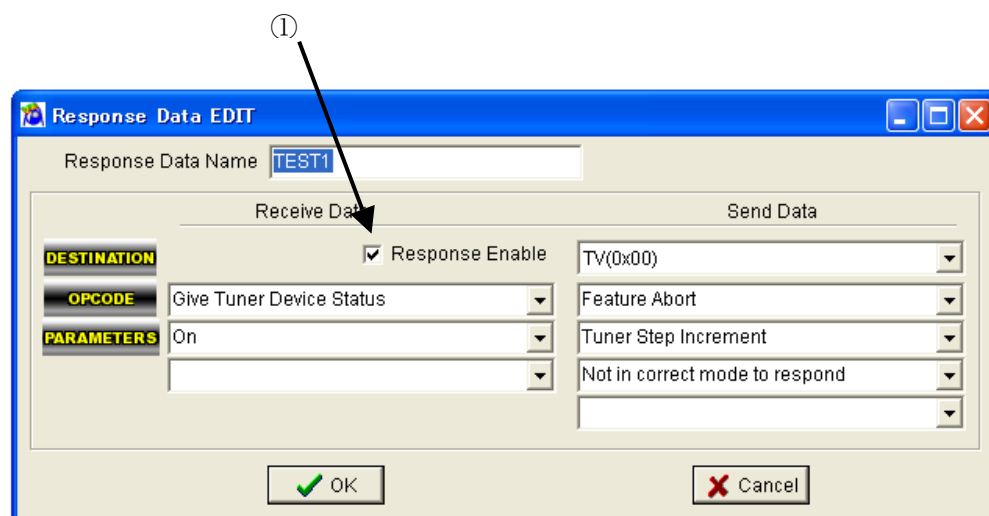
① 現在設定されているデータを表示しています。各データをダブルクリックすると詳細設定フォームが開きます。最大10つの設定を行う事が出来ます。

② を押下する事で最大10つの設定を行う事が出来ます。

③ を押下することで選択されている設定を消去します。

④ を押下する事で設定されたデータを VA-1809A に設定します。

⑤ を押下すると VA-1809A に設定を行わず Response EDIT 画面を閉じます。



①のチェックボックス

にチェックが入っている場合、Receive Data と合致したデータを受信すると Destination に対して Send Data に設定したデータを送信します。

また、チェックされていない場合、Receive Data と合致したデータを受信しても何も送信しません。

2.6.4. メニュー

■ [File]メニュー

メニューコマンド	機能
Open	CEC SEND DATA を開きます。
Save	CEC SEND DATA をファイルに保存します。
Save As	CEC SEND DATA のファイル名を変更して保存します。
Exit EDID Editor	プログラムを終了します。

■ [CEC]メニュー

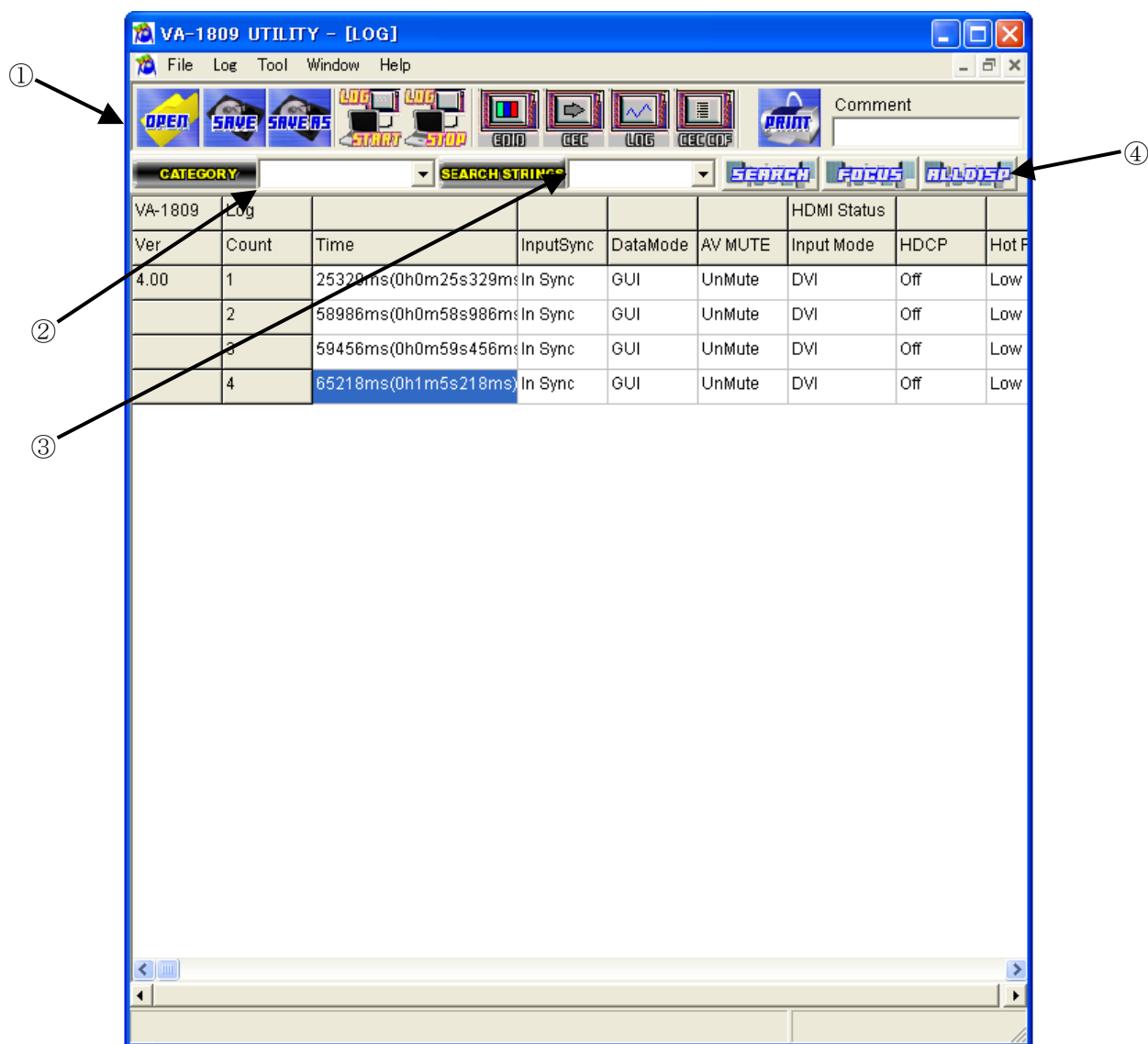
メニューコマンド	機能
Start Data Request	CEC データのモニタリングを開始します。
Stop Data Request	CEC データのモニタリングを終了します。
Disp Clear	CEC モニターの表示をクリアします。
GUI - HEX	CEC モニターの表示を GUI を HEX へ、HEX を GUI へ切り替えます。
Send File	送信シーケンスファイルを実行します。
Send File Agein	前回読み込んだ送信シーケンスファイルを再度実行します。
Cancel File Sequence	現在実行中のシーケンスファイルを終了します。
Set Emulate Device	エミュレートデバイスの設定を行います。
Response Edit	レスポンスの設定を行います。

2.7. LOG

2.7.1. 起動方法

[LOG] ボタンを選択して下さい。

2.7.2. Window 画面と名称




No.	項目名	詳細
①	ツールバー	<ul style="list-style-type: none">▪ Open : LOG データファイルを開きます。▪ Save : LOG データをファイルに上書き保存します。▪ Save As : LOG データをファイルに保存します。▪ LOG START : LOG 取得を開始します。▪ LOG STOP : LOG 取得を終了します。
②	CATEGORY	FOCUS するカテゴリーを設定します。
③	SEARCH STRINGS	検索する文字列を設定します。
④	DISP MODE	<ul style="list-style-type: none">▪ SERCH : SEARCH STRINGS に設定した文字列を LOG 内より検索します。▪ FOCUS : CATEGORY に設定した項目のみ表示します。▪ ALL DISP : すべてのデータを表示します。

2.7.3. 操作方法





(1) LOG モニター

LOG データを表示します。



- ① [File]メニューの[Start Logging Only in PC] メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択した場合、Utility に対して LOG データの取得を開始します。
- ② [File]メニューの[Start Logging in PC And VA] メニューを選択した場合、Utility 及び VA-1809A に挿入されているカードに対して LOG データの取得を開始します。




- ③ [File]メニューの[End Logging] メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択するまで、一定期間ごとに LOG データの取得を行います。
- ④  を押下すると SEARCH STRINGS に設定した文字列を検索します。
- ⑤  を押下すると CATEGORY に設定した項目のみ表示します。
- ⑥  を押下すると全ての LOG データを表示します。

(2) ファイルを開く

保存されている LOG ファイルを開いて表示します。




- ① [File]メニューから[Open]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択してください。
- ② ファイルを選択し、OK ボタンを押します。
- ③ 選択されたファイルが開かれて LOG が表示されます。


(3) ファイルの保存

表示されているデータをファイルに保存します。



- ① [File]メニューの[Save]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択場合、データを選択されているファイルに上書き保存します。



- ② [File]メニューの[Save As]メニューを選択するか、ツールボタンから  ボタンを選択した場合、ファイルの選択ダイアログが表示されます。ファイル名を入力し、OK ボタンを押します。表示されている LOG を、新規ファイルに保存します。
- ③ [File]メニューの[CVS]メニューを選択した場合、ファイルの選択ダイアログが表示されます。ファイル名を入力し、OK ボタンを押します。表示されている LOG を、新規に CVS 形式のファイルを保存します。

2.7.4. メニュー

■ [File]メニュー

メニューコマンド	機能
Open	LOG を開きます。
Save	LOG をファイルに保存します。
Save As	LOG のファイル名を変更して保存します。
CVS	LOG のファイル名を変更して CVS 形式で保存します
Print	LOG データを印刷します。
Exit EDID Editor	プログラムを終了します。

■ [LOG]メニュー

メニューコマンド	機能
Start Logging Only in PC	LOG データの取得を開始します。(Utility のみ)
Start Logging in PC And VA	LOG データの取得を開始します。(Utility、VA-1809A に挿入されているカード)
End Logging	LOG データの取得を終了します。
LOG FILE Download	VA-1809A に挿入されている CF カードの HTML 形式の LOG データを PC に転送します。

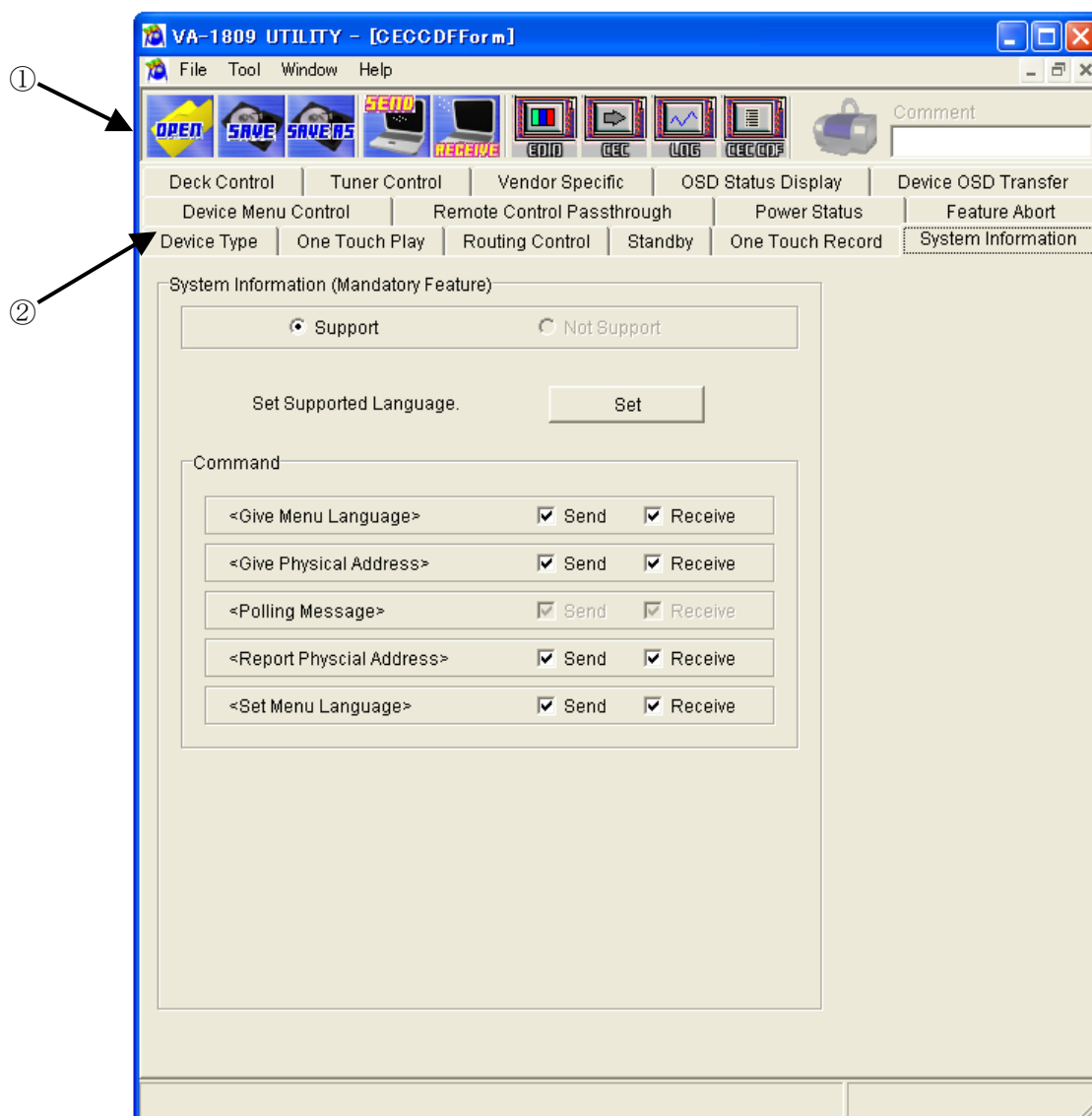
※ LOG 機能は VA-1809A の LOG Type が [TEXT MODE] の設定されている時のみ実行できます。[HTML MODE] の設定されている場合、[LOG FILE Download] で転送を行ってください。

2.8. CEC CDF

2.8.1. 起動方法

[CEC CDF] ボタンを選択して下さい。

2.8.2. Window 画面と名称



No.	項目名	詳細
①	ツールバー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Open : CEC SEND データファイルを開きます。 ▪ Save : CEC SEND データをファイルに上書き保存します。 ▪ Save As : CEC SEND データをファイルに保存します。 ▪ SEND : VA-1809A に CEC CDF のデータを設定します。 ▪ RECEIVE : VA-1809A から CEC CDF のデータを読み込みます。
②	Features	各機能毎のタグに設定項目が分かれています。 設定を行う機能を選択し、設定を行ってください。

2.8.3. 設定項目

CEC CDF で設定を行う項目は以下の通りです。

● Device Type / CEC Features / CECMessages Supported

項目		選択肢
Device Type		Standard TV / TV with an HDMI Output / Recording Device / Tuner / Playback Device / Audio System / CEC Switch
CEC Features		
	CEC Message	
One Touch Play		(Mandatory Feature)
	Can DUT be brought out of Standby?	
	-> Does DUT(TV) have an internal source?	Support Yes / No
	-> Does DUT(TV) have a text mode?	
	Active Source	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Image View On	
	Text View On	
Routing Control		(Mandatory Feature)
	Request Active Source	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Routing Change	
	Routing Information	
	Set Stream Path	
	Inactive Source	
Standby		Support Yes / No
	Standby	Send Support Yes / No
	Standby(Direct Address)	Receive Support Yes / No
	Standby(Broadcast)	

CEC Features		
	CEC Message	
One Touch Record		Support Yes / No
	-> Does DUT(TV) have an internal source?	Support Yes / No
	Record Off	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Record On	
	Record On [Own Source]	
	Record On [Digital Service]	
	Record On [Analogue Service]	
	Record On [External Plug]	
	Record On [External Physical Address]	
	Record Status	
	Record TV Screen	
Timer Programming		Support Yes / No
	Clear Analogue Timer	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Clear Digital Timer	
	Clear External Timer	
	Set Analogue Timer	
	Set Digital Timer	
	Set External Timer	
	Set External Timer [External Plug]	
	Set External Timer [External Physical Address]	
	Set Timer Program Title	
	Timer Cleared Status	
	Timer Status	
System Information		Support Yes / No
	-> Language Supported	
	Give Menu language	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Give Physical Address	
	Polling Message	
	Report Physical Address	
	Set Menu Language	
	Get CEC Version	
	CEC Version	

CEC Features		選択肢
	CEC Message	
Deck Control		Support Yes / No
	Deck Control	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Deck Control [Skip Forward / Wind Forward]	
	Deck Control [Skip Backward / Rewind]	
	Deck Control [Stop]	
	Deck Status	
	Give Deck Status	
	Give Deck Status [Once]	
	Play	
	Play [Play Forward]	
	Play [Play Reverse]	
	Play [Play Still]	
	Play [Fast Forward Min speed]	
	Play [Fast Forward Medium speed]	
	Play [Fast Forward Max speed]	
	Play [Fast Reverse Min speed]	
	Play [Fast Reverse Medium speed]	
	Play [Fast Reverse Max speed]	
	Play [Slow Forward Min speed]	
	Play [Slow Forward Medium speed]	
	Play [Slow Forward Max speed]	
	Play [Slow Reverse Min speed]	
	Play [Slow Reverse Medium speed]	
	Play [Slow Reverse Max speed]	
Tuner Control		Support Yes / No
	-> Which [Digital Broadcast System] does DUT support?	
	-> Which [Analogue Broadcast System] does DUT support?	
	Give Tuner Device Status	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Select Digital Service	
	Select Analogue Service	
	Tuner Device Status	
	Tuner Step Decrement	
	Tuner Step Increment	

CEC Features		選択肢
	CEC Message	
Vendor Specific		Support Yes / No
	Device Vendor ID	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Give Device Vendor ID	
	Vendor Command	
	Vendor Remote Button Down	
	Vendor Remote Button Up	
	-> Vendor ID used by the DUT	
OSD Status Display		Support Yes / No
	Set OSD String	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
Device OSD Transfer		Support Yes / No
	Give OSD Name	Send Support Yes / No
	Set OSD Name	Receive Support Yes / No
	-> Device OSD Name	
Device Menu Control		Support Yes / No
	Menu Request	Send Support Yes / No
	Menu Status	Receive Support Yes / No
Remote Control Passthrough		Support Yes / No
	User Control Pressed	Send Support Yes / No
	User Control Released	Receive Support Yes / No
	-> Supported Operation Ids as Initiator?	
	-> Supported Operation Ids as Follower?	
Power Status		(Mandatory Feature)
	Give Device Power Status	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Report Device Power Status	
	Report Device Power Status[ON]	
	Report Device Power Status[Standby]	
System Audio Control		Support Yes / No
	Give System Audio mode Status	Send Support Yes / No Receive Support Yes / No
	Report Audio Status	
	Set System Audio Mode	
	System Audio Mode Request	
	System Audio Mode Status	
Set Audio Rate		Support Yes / No

● UI Command Set **F4**

Select	Up	Down	Left
Right	Right-Up	Right-Down	Left-Up
Left-Down	Root Menu	Setup Menu	Contents Menu
Favorite Menu	Exit	Reserved (0x0E)	Reserved (0x0F)
Reserved (0x10)	Reserved (0x11)	Reserved (0x12)	Reserved (0x13)
Reserved (0x14)	Reserved (0x15)	Reserved (0x16)	Reserved (0x17)
Reserved (0x18)	Reserved (0x19)	Reserved (0x1A)	Reserved (0x1B)
Reserved (0x1C)	Reserved (0x1D)	Reserved (0x1E)	Reserved (0x1F)
Numbers 0	Numbers 1	Numbers 2	Numbers 3
Numbers 4	Numbers 5	Numbers 6	Numbers 7
Numbers 8	Numbers 9	Dot	Enter
Clear	Reserved (0x2D)	Reserved (0x2E)	Next Favorite
Channel Up	Channel Down	Previous Channel	Sound Select
Input Select	Display Information	Help	Page Up
Page Down	Reserved (0x39)	Reserved (0x3A)	Reserved (0x3B)
Reserved (0x3C)	Reserved (0x3D)	Reserved (0x3E)	Reserved (0x3F)
Power	Volume Up	Volume Down	Mute
Play	Stop	Pause	Record
Rewind	Fast forward	Eject	Forward
Backward	Stop-Record	Pause-Record	Reserved (0x4F)
Angle	Sub picture	Video on Demand	Electronic Program Guid
Timier Programming	Initial Configuration	Reserved (0x56)	Reserved (0x57)
Reserved (0x58)	Reserved (0x59)	Reserved (0x5A)	Reserved (0x5B)
Reserved (0x5C)	Reserved (0x5D)	Reserved (0x5E)	Reserved (0x5F)
Play Function	Pause-Play Function	Record Function	Pause-Record Function
Stop Function	Mute Function	Restore Volume Function	Tune Function
Select Disk Function	Select A/V Input Function	Select Audio Input Function	Power Toggle Function
Power Off Function	Power On Function	Reserved (0x6E)	Reserved (0x6F)
Reserved (0x70)	F1 (Blue)	F2 (Red)	F3 (Green)
F4 (Yellow)	F5	Data	Reserved (0x77)
Reserved (0x78)	Reserved (0x79)	Reserved (0x7A)	Reserved (0x7B)
Reserved (0x7C)			

● LANGUAGE SET

Code	Language	Code	Language
aar	Afar	abk	Abkhazian
ace	Achinese	ach	Acoli
ada	Adangme	ady	Adyghe; Adygei
afa	Afro-Asiatic (Other)	afh	Afrihili
afr	Afrikaans	ain	Ainu
aka	Akan	akk	Akkadian
alb (sqi)	Albanian	ale	Aleut
alg	Algonquian languages	alt	Southern Altai
amh	Amharic	ang	English, Old (ca.450-1100)
anp	Angika	apa	Apache languages
ara	Arabic	arc	Aramaic
arg	Aragonese	arm (hye)	Armenian
arn	Araucanian	arp	Arapaho
art	Artificial (Other)	arw	Arawak
asm	Assamese	ast	Asturian; Bable
ath	Athapascan languages	aus	Australian languages
ava	Avaric	ave	Avestan
awa	Awadhi	aym	Aymara
aze	Azerbaijani		

bad	Banda	bai	Bamileke languages
bak	Bashkir	bal	Baluchi
bam	Bambara	ban	Balinese
baq (eus)	Basque	bas	Basa
bat	Baltic (Other)	bej	Beja
bel	Belarusian	bem	Bemba
ben	Bengali	ber	Berber (Other)
bho	Bhojpuri	bih	Bihari
bik	Bikol	bin	Bini
bis	Bislama	bla	Siksika
bnt	Bantu (Other)	bod (tib)	Tibetan
bos	Bosnian	bra	Braj
bre	Breton	btm	Batak (Indonesia)
bua	Buriat	bug	Buginese
bul	Bulgarian	bur (mya)	Burmese
byn	Blin; Bilin		

Code	Language	Code	Language
cad	Caddo	cai	Central American Indian (Other)
car	Carib	cat	Catalan; Valencian
cau	Caucasian (Other)	ceb	Cebuano
cel	Celtic (Other)	ces (cze)	Czech
cha	Chamorro	chb	Chibcha
che	Chechen	chg	Chagatai
chi (zho)	Chinese	chk	Chuukese
chm	Mari	chn	Chinook jargon
cho	Choctaw	chp	Chipewyan
chr	Cherokee	chu	Church Slavic; Old Slavonic; Church Slavonic; Old Bulgarian; Old Church Slavonic
chv	Chuvash	chy	Cheyenne
cmc	Chamic languages	cop	Coptic
cor	Cornish	cos	Corsican
cpe	Creoles and pidgins, English based (Other)	cpf	Creoles and pidgins, French-based (Other)
cpp	Creoles and pidgins, Portuguese-based (Other)	cre	Cree
crh	Crimean Tatar; Crimean Turkish	crp	Creoles and pidgins (Other)
csb	Kashubian	cus	Cushitic (Other)
cym (wel)	Welsh	cze (ces)	Czech
dak	Dakota	dan	Danish
dar	Dargwa	day	Dayak
del	Delaware	den	Slave (Athapaskan)
deu (ger)	German	dgr	Dogrib
din	Dinka	div	Divehi; Dhivehi; Maldivian
doi	Dogri	dra	Dravidian (Other)
dsb	Lower Sorbian	dua	Duala
dum	Dutch, Middle (ca.1050-1350)	dut (nld)	Dutch; Flemish
dyu	Dyula	dzo	Dzongkha
efi	Efik	egy	Egyptian (Ancient)
eka	Ekajuk	ell (gre)	Greek, Modern (1453-)
elx	Elamite	eng	English
enm	English, Middle (1100-1500)	epo	Esperanto
est	Estonian	eus (baq)	Basque
ewe	Ewe	ewo	Ewondo

Code	Language	Code	Language
fan	Fang	fao	Faroese
fas (per)	Persian	fat	Fanti
fij	Fijian	fil	Filipino; Pilipino
fin	Finnish	fiu	Finno-Ugrian (Other)
fon	Fon	fra (fre)	French
fre (fra)	French	frm	French, Middle (ca.1400-1600)
fro	French, Old (842-ca.1400)	frr	Northern Frisian
frs	Eastern Frisian	fry	Western Frisian
ful	Fulah	fur	Friulian
gaa	Ga	gay	Gayo
gba	Gbaya	gem	Germanic (Other)
geo (kat)	Georgian	ger (deu)	German
gez	Geez	gil	Gilbertese
gla	Gaelic; Scottish Gaelic	gle	Irish
glg	Galician	glv	Manx
gmh	German, Middle High (ca.1050-1500)	goh	German, Old High (ca.750-1050)
gon	Gondi	gor	Gorontalo
got	Gothic	grb	Grebo
grc	Greek, Ancient (to 1453)	gre (ell)	Greek, Modern (1453-)
grn	Guarani	gsw	Alemanic; Swiss German
guj	Gujarati	gwi	Gwich'in
hai	Haida	hat	Haitian; Haitian Creole
hau	Hausa	haw	Hawaiian
heb	Hebrew	her	Herero
hil	Hiligaynon	him	Himachali
hin	Hindi	hit	Hittite
hmn	Hmong	hmo	Hiri Motu
hrv (scr)	Croatian	hsb	Upper Sorbian
hun	Hungarian	hup	Hupa
hye (arm)	Armenian		
iba	Iban	ibo	Igbo
ice (isl)	Icelandic	ido	Ido
iii	Sichuan Yi	ijo	Ijo
iku	Inuktitut	ile	Interlingue
ilo	Iloko	ina	Interlingua (International Auxiliary Language Association)
inc	Indic (Other)	ind	Indonesian
ine	Indo-European (Other)	inh	Ingush
ipk	Inupiaq	ira	Iranian (Other)
iro	Iroquoian languages	isl (ice)	Icelandic
ita	Italian		

Code	Language	Code	Language
jav	Javanese	jbo	Lojban
jpn	Japanese	jpr	Judeo-Persian
jrb	Judeo-Arabic		
kaa	Kara-Kalpak	kab	Kabyle
kac	Kachin	kal	Kalaallisut; Greenlandic
kam	Kamba	kan	Kannada
kar	Karen	kas	Kashmiri
kat (geo)	Georgian	kau	Kanuri
kaw	Kawi	kaz	Kazakh
kbd	Kabardian	kha	Khasi
khi	Khoisan (Other)	khm	Khmer
kho	Khotanese	kik	Kikuyu; Gikuyu
kin	Kinyarwanda	kir	Kirghiz
kmb	Kimbundu	kok	Konkani
kom	Komi	kon	Kongo
kor	Korean	kos	Kosraean
kpe	Kpelle	krc	Karachay-Balkar
krl	Karelian	kro	Kru
kru	Kurukh	kua	Kuanyama; Kwanyama
kum	Kumyk	kur	Kurdish
kut	Kutenai		
lad	Ladino	lah	Lahnda
lam	Lamba	lao	Lao
lat	Latin	lav	Latvian
lez	Lezghian	lim	Limburgan; Limburger; Limburgish
lin	Lingala	lit	Lithuanian
lol	Mongo	loz	Lozi
ltz	Luxembourgish; Letzeburgesch	lua	Luba-Lulua
lub	Luba-Katanga	lug	Ganda
lui	Luiseno	lun	Lunda
luo	Luo (Kenya and Tanzania)	lus	Iushai
mac (mkd)	Macedonian	mad	Madurese

Code	Language	Code	Language
mag	Magahi	mah	Marshallese
mai	Maithili	mak	Makasar
mal	Malayalam	man	Mandingo
mao (mri)	Maori	map	Austronesian (Other)
mar	Marathi	mas	Masai
may (msa)	Malay	mdf	Moksha
mdr	Mandar	men	Mende
mga	Irish, Middle (900-1200)	mic	Mi'kmaq; Micmac
min	Minangkabau	mis	Miscellaneous languages
mkd (mac)	Macedonian	mkh	Mon-Khmer (Other)
mlg	Malagasy	mlt	Maltese
mnc	Manchu	mni	Manipuri
mno	Manobo languages	moh	Mohawk
mol	Moldavian	mon	Mongolian
mos	Mossi	mri (mao)	Maori
msa (may)	Malay	mul	Multiple languages
mun	Munda languages	mus	Creek
mwj	Mirandese	mwr	Marwari
mya (bur)	Burmese	myn	Mayan languages
myv	Erzya		
nah	Nahuatl	nai	North American Indian
nap	Neapolitan	nau	Nauru
nav	Navajo; Navaho	nbl	Ndebele, South; South Ndebele
nde	Ndebele, North; North Ndebele	ndo	Ndonga
nds	Low German; Low Saxon; German, Low; Saxon, Low	nep	Nepali
new	Newari; Nepal Bhasa	nia	Nias
nic	Niger-Kordofanian (Other)	niu	Niuean
nld (dut)	Dutch; Flemish	nno	Norwegian Nynorsk; Nynorsk, Norwegian
nob	Norwegian Bokmal; Bokmal, Norwegian	nog	Nogai
non	Norse, Old	nor	Norwegian
nqo	N'ko	nso	Northern Sotho, Pedi; Sepedi
nub	Nubian languages	nwc	Classical Newari; Old Newari; Classical Nepal Bhasa
nya	Chichewa; Chewa; Nyanja	nym	Nyamwezi
nyn	Nyankole	nyo	Nyoro
nzi	Nzima		
oci	Occitan (post 1500); Provençal	oji	Ojibwa
ori	Oriya	orm	Oromo
osa	Osage	oss	Ossetian; Ossetic
ota	Turkish, Ottoman (1500-1928)	oto	Otomian languages

Code	Language	Code	Language
paa	Papuan (Other)	pag	Pangasinan
pal	Pahlavi	pam	Pampanga
pan	Panjabi; Punjabi	pap	Papiamento
pau	Palauan	peo	Persian, Old (ca.600-400 B.C.)
per (fas)	Persian	phi	Philippine (Other)
phn	Phoenician	pli	Pali
pol	Polish	pon	Pohnpeian
por	Portuguese	pra	Prakrit languages
pro	Provençal, Old (to 1500)	pus	Pushto
que	Quechua		
raj	Rajasthani	rap	Rapanui
rar	Rarotongan	roa	Romance (Other)
roh	Raeto-Romance	rom	Romany
ron (rum)	Romanian	rum (ron)	Romanian
run	Rundi	rup	Aromanian; Arumanian; Macedo-Romanian
rus	Russian		
sad	Sandawe	sag	Sango
sah	Yakut	sai	South American Indian (Other)
sal	Salishan languages	sam	Samaritan Aramaic
san	Sanskrit	sas	Sasak
sat	Santali	scc (srp)	Serbian
scn	Sicilian	sco	Scots
scr (hrv)	Croatian	sel	Selkup
sem	Semitic (Other)	sga	Irish, Old (to 900)
sgn	Sign Languages	shn	Shan
sid	Sidamo	sin	Sinhala; Sinhalese
sio	Siouan languages	sit	Sino-Tibetan (Other)
sla	Slavic (Other)	slk (slo)	Slovak
slo (slk)	Slovak	slv	Slovenian
sma	Southern Sami	sme	Northern Sami
smi	Sami languages (Other)	smj	Lule Sami
smn	Inari Sami	smo	Samoan
sms	Skolt Sami	sna	Shona
snd	Sindhi	snk	Soninke
sog	Sogdian	som	Somali
son	Songhai	sot	Sotho, Southern
spa	Spanish; Castilian	sqi (alb)	Albanian
srd	Sardinian	srn	Sranan Togo
srp (scc)	Serbian	srr	Serer
ssa	Nilo-Saharan (Other)	ssw	Swati

Code	Language	Code	Language
suk	Sukuma	sun	Sundanese
sus	Susu	sux	Sumerian
swa	Swahili	swe	Swedish
syr	Syriac		
tah	Tahitian	tai	Tai (Other)
tam	Tamil	tat	Tatar
tel	Telugu	tem	Timne
ter	Tereno	tet	Tetum
tgk	Tajik	tgl	Tagalog
tha	Thai	tib (bod)	Tibetan
tig	Tigre	tir	Tigrinya
tiv	Tiv	tkl	Tokelau
tlh	Klingon; tlhIngan-Hol	tli	Tlingit
tmh	Tamashek	tog	Tonga (Nyasa)
ton	Tonga (Tonga Islands)	tpi	Tok Pisin
tsi	Tsimshian	tsn	Tswana
tso	Tsonga	tuk	Turkmen
tum	Tumbuka	tup	Tupi languages
tur	Turkish	tut	Altaic (Other)
tvI	Tuvalu	twi	Twi
tyv	Tuvinian		
udm	Udmurt	uga	Ugaritic
uig	Uighur; Uyghur	ukr	Ukrainian
umb	Umbundu	und	Undetermined
urd	Urdu	uzb	Uzbek
vai	Vai	ven	Venda
vie	Vietnamese	vol	Volapuk
vot	Votic		
wak	Wakashan languages	wal	Walamo
war	Waray	was	Washo
wel (cym)	Welsh	wen	Sorbian languages
wln	Walloon	wol	Wolof
xal	Kalmyk; Oirat	xho	Xhosa
yao	Yao	yap	Yapese
yid	Yiddish	yor	Yoruba
ypk	Yupik languages		
zap	Zapotec	zen	Zenaga
zha	Zhuang; Chuang	zho (chi)	Chinese
znd	Zande	zul	Zulu
zun	Zuni		

●TUNER SERVICE SET

Digital Service 1	Digital Broadcast System1
	Service Identification1
Digital Service 2	Digital Broadcast System2
	Service Identification2
Digital Service 3	Digital Broadcast System3
	Service Identification3

Analogue Service 1	Analogue Broadcast Type1
	Analogue Frequency1
	Broadcast System1
Analogue Service 2	Analogue Broadcast Type2
	Analogue Frequency2
	Broadcast System2
Analogue Service 3	Analogue Broadcast Type3
	Analogue Frequency3
	Broadcast System3

●DEVICE INFO SET

Vendor ID	3Byte DATA
OSD NAME	ASCII 最大 14Byte
External Plug No.	1Byte Data
External Physical Address	2Byte Data
Timer	6Byte Data